

第3期浦河町地方創生総合戦略(案)質疑・意見・回答

別紙

番号	ページ	政策目標	項目	委員からの質疑・意見	回答・今後の取組	担当課
1	P5～7	I. 競争力のある産業振興による活力あるまちづくり	2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (1) 第一次産業の振興	データ駆動型農業導入支援の浦河町における具体的ビジョンは。	振興作物である「夏いちご」栽培管理に効果が期待できるデータ駆動型農業を町営試験栽培ハウスにて先行導入し、農家にも公開するなかで、データに基づいた安定した栽培管理の普及を図る。 将来的には、ICTを活用した様々な機器も検討し、浦河町に適したスマート農業のあり方を検証し、町内農家への普及、次世代の農業を見据えた新規就農者の獲得を目指します。	産業課
2			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (2) 新たな観光産業の振興	道の駅や物産館の整備検討とあるが、実際造るつもりはあるのか。	道の駅や物産館の整備は、浦河ならではのまちの資源や魅力を発信できるものの一つとして考えておりますが、今現在決定してはおりません。今後、町民の皆様からいただいた意見などを参考に検討していきます。	企画課
3			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4) 創業・第2創業支援と雇用の拡充	新規創業件数0件(基準値R2)⇒6件(目標値R8) 何か具体的な働きかけや、検討中の人材の数字なのか。新規雇用者数の30人/年は変わらずというか。	新規創業件数及び新規雇用者数のどちらもその年によって変動がありますが、新規創業についてはH29～R1合計で9件の実績があり、目標値を年平均3件の倍数に設定しております。 新規雇用者数は増加傾向にあるものの、年によって増減があることから目標値はそのままとしています。	商工観光課
4	P8～9	II. 潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり	1. 基本目標	転入者の目標値800人は裏付けがあるのか。	過去5年平均の転出者数を上回ることを目標として設定しております。(転出H28～R2の5年平均789人)	企画課
5			1. 基本目標	出生者数は、目標値を掲げる前に、医師や施設の拡充・環境整備について進めるべきだと考えます。	町内の医療従事者の育成・確保として、医師等修学資金貸付制度を実施するなど医師の受入体制の環境整備を進めているところであり、今後においても、医療施設の整備を含めた、子どもが安心して産み育てることができる環境づくりを進めていき、出生者数の増加に繋がります。	企画課

6			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4)教育の充実	児童読書推進事業 図書館の受付で学年別のカードを受け取り、書かれている本を探し出して、読書感想文を提出していただくゲームはどうでしょうか。	児童読書推進事業につきましては、これまで館内展やスタンプラリー等を開催してきているところです。ご提案の取り組みにつきましても、児童の読書推進につながるものと考えますので、今後の子どもの読書週間事業や読書週間事業の参考にさせていただきます。	図書館
7	P10~12	Ⅲ. 子育て世代を支える優しいまちづくり	2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4)教育の充実	『部活動の地域移行によるスポーツ・文化の「まちづくり」の推進』文科省では学校の働き方改革を踏まえた部活改革を打ち出しており中教審や給特法の国会審議において、「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘されています。具体的な方策としては、休日の部活動の令和5年度以降に段階的な地域移行を可能とする方向性を明示しております。このことから、北海道教育委員会においても市町村、スポーツ・文化協会、民間企業との協働モデル事業を展開し、学校の働き方改革と持続可能な部活動の実現とともにスポーツ・文化や経済活動の振興など地域の活性化を目指しております。そのためにも、地元市町村やスポーツ文化協会が音頭をとり、地域の部活動を学校種を超えて指導する体制を構築する必要があります。小中高の連携は必須であり、地域人材の確保など喫緊の課題と考えます。	現在は、全ての部活動で地域人材の導入には至っていませんが、一部の中学校ですがスケートや吹奏楽で地域人材を活用し、外部コーチとして指導いただいています。ご意見ありました小学校～高校まで連携して地域でも指導できる体制ができれば、切れ間なくスポーツ文化活動が充実し、教育のみならず地域の活性化になるものと考えています。今後、中学校区ごとに設置している学校運営協議会で地域のみなさんからのアイデアや意見を聞きながら、地域指導者の確保に取り組めます。	管理課/FSC
8			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4)教育の充実	少年団・部活動等への支援の拡充 近所の高齢者住宅の除雪等のボランティア活動にポイントを付けて何らかの支援を行うてはどうでしょうか。	少年団、部活動、クラブチームなどへの支援については、現在、町より全道大会などの出場者に対する補助や、活動等に対する補助を行っているところです。ボランティア活動(地域のゴミ拾いなど)については、今現在でも少年団などで実施している団体もあることから、今後の支援の拡充として、ボランティア活動に対しても何らかの支援が出来ないか検討してまいります。	FSC

9			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4) 教育の充実	<p>浦河町で参考にしている大館市の教育方針がありますが、それが今のところ結果に現れている様子はありません。何が問題点なのか、別会議体で検証して進めて行ってほしいと思います。教育方針が浦河町の子に合っていないのか、現場レベルまでその考え方・教え方が降りてきていないのか、学校外の教育が原因なのか、それによっても対応が変わってくると思います。今現在どの部分が問題点だと考えているのでしょうか？</p> <p>全国以上という目標を掲げていってずっと達成はしていない状態なので、根本的な改革が必要かと思えます。まちづくりや移住の視点からしても教育は重要だと思えます。</p> <p>個人的には、学力が全てとは思っていませんし、今浦河町の子供たちが町の事に関しての勉強や色々なことに挑戦したり頑張っている姿を見るので、素晴らしいとは思っています。ただ家庭学習時間が全国より多いのに(小学生)学力が低いというのは教育のやり方が浦河町の子に合っていないか、間違っているかのどちらかではないかとも思えます。</p> <p>全国には他にも参考にすべき教育方法もあって、大阪にある大空小学校というところでは、見える学力と見えない学力(人を大切にできる力、自分の考えを持つ力、自分を表現する力、チャレンジをする力)を分けて、見えない学力をつける事が目的だったので、結果学力も向上したという例もあります。他の会議体で一度話し合ってみてほしいと思います。</p>	<p>令和3年度の全国学力・学習状況調査結果では、小中ともに、国語・算数(数学)の同じ領域で全国平均点を下回る結果となりました。また、1時間以上の学習時間比較では、小学校では全国平均を上回り、中学校は全国・全道平均を下回りました。</p> <p>各学校のミドルリーダーと教頭2名で構成する「学力向上推進委員会」で、浦河町全体の調査結果を分析し、学力を高めるための改善の方向をそろえて浦河町全体で学力向上策に取り組んできました。また、この委員会メンバーを中心に、以前から「主体的・対話的で深い学び」を実践している教育先進地である大館市の授業参観や秋田型の家庭学習の取り組みを学んでいます。浦河町全小中学校では、4年前から「授業づくり」「学習のきまり」「家庭学習の取り組み」を浦河町の取組として行ってきたところです。教授型授業からの脱却、児童・生徒が主体となって進める授業や対話的な学びの推進を図っています。家庭学習については、小学校は質の向上、中学校は量と質の向上が課題と考えています。</p> <p>4月から新しくなったタブレットのソフトを授業の中で活用し、「多様な他者との協働」である『協働的な学び』を取り入れた授業改善を進めています。また、タブレットを家に持ち帰らせ、主体的に家庭学習を行うことで『個別最適な学び』の充実を図っています。今や、教師や児童・生徒にとってタブレットはなくてはならないものとなっています。</p> <p>学力向上の取組が、すぐに目に見える結果に反映できてはいませんが、学年ごとの経年比較ではよい傾向に改善が見られました。</p> <p>ご指摘のありました教育方法の見直しは、これまで教育委員学校訪問での授業参観を通して、現状認識及び改善策を話し合っていますが、より多くの意見を頂き改善ができるよう中学校区で設置されている学校運営協議会等の会議を活かしながら進めていきます。</p>	管理課
10			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (1) 安心な暮らしの確保	<p>介護職の人材育成とあるが、浦河町には現在何人の介護資格を取得した人がいて、実際何人の人がその職に就いているのか。離職している人が多いのには何らかの要因があるのでは。</p>	<p>介護有資格者については、老人福祉系の施設で160名前後の方が就業していることは把握しておりますが、潜在的な有資格者については、個人情報になることもあり、把握できておりません。離職の要因としては、職員の高齢化によるものや、現実と理想のギャップによるものが主なものだと考えます。</p>	保健福祉課
11			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (1) 安心な暮らしの確保	<p>街路(防犯)灯の維持管理 現在どのように防犯カメラの維持管理が行われているのか。</p>	<p>街路(防犯)灯は、不具合が生じた場合にその都度修理するなどし対応しております。</p> <p>防犯カメラは、公共施設に設置しているものは定期的に動作確認を行っており、不具合がある場合には都度対応しております。</p>	町民課
12	P13~15	IV. 安心と連携で支えるまちづくり	2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (3) まちづくりへの住民参加の促進	<p>若者のまちづくりへの参画推進 各自治会では会員の入会者が減少しています。まずは、役場職員が進んで参加していただきたい。</p>	<p>役場職員を含め、若い世代が主体となってまちづくりに取り組むことができるよう、自治会活動に参加しやすい環境づくりを進めてまいります。</p>	企画課
13			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4) 広域的な地域間連携の促進	<p>広域連携による行政サービス提供の推進 もっと身近な、えりも町、様似町との東部3町のつながりを強化しては。</p>	<p>東部3町と広尾町を加えた4町で、えりも岬とんがりロード観光協議会として観光推進や映画製作などの取り組みを行っております。今後につきましても、つながりを強化し行政サービスなど広域的な連携を進めてまいります。</p>	企画課

14			2. 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数 (4) 広域的な地域間連携の促進	北海道には多種多様な昆布がありますが、何町かで協力して、ふるさと納税で「食べ比べ昆布の詰め合わせ」を作り、食としての昆布の良さをPRしてみてもいいでしょうか。	ふるさと納税の仕組上、市町村広域による返礼品のパッケージ化はできませんが、『喜コンブケーキ』等、昆布を使用した魅力ある商品開発を引き続き進めてまいります。	総務課
15		全体を通して		資料1で、第2期の資料にR3の3/4期の実績値も載せていただくと、第3期の目標が達成可能な数値なのか、絵にかいた餅のようなものなのか、妥当性が考慮できたのでは。	第3期の目標については、基準となるR2の実績の他、今年度(R3)の実績も踏まえた上で、設定いたしました。いただいた意見を今後の策定の参考とさせていただきます。	企画課
16				KPIに関してアウトプットの方が測定しやすいというメリットはあるものの、一部はアウトカムではなく、アウトプットの測定になっている。例えば、新たな観光産業の指数に関して、事業目的は「観光振興を進め、地域産業への経済波及効果の拡大を目指す」とあるので、人数はアウトプットの評価であり、新しい観光を楽しみに来た観光客が消費した金額にした方が目的に合致する。新規のKPIである浦河町SNS登録者数については、貴町が登録者に何を期待していくかによってアウトカムが異なる。したがって、登録という行動の次に期待する行動、例えばふるさと納税や口コミ拡散といった行動を促す手段も用意しておく。	各KPIを設定いたしましたが、経済波及効果やSNS登録の次につながる行動など、KPIの先を見据えたものを用意しておくことは必要であると考えております。いただいた意見を今後の策定の参考とさせていただきます。	企画課